

[成果情報名]直売向け夏秋ナスの品種特性

[要約]直売所の販売品目充実にあたり、長ナス品種‘庄屋大長’、水ナス品種‘みず茄’、小ナス品種‘梵天丸’の品種特性を把握した。

[キーワード]ナス、直売所、品種特性、かいてき仕立て

[担当]山梨総農セ・栽培部・野菜科

[代表連絡先]電話 0551-28-2496、電子メール sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp

[区分]関東東海北陸農業・野菜

[分類]技術・参考

[背景・ねらい]

現在、本県で栽培されているナス品種の大半は、‘千両二号’であるため、直売向けの品揃えを考慮した場合にはバラエティ感に欠ける。そこで、大きさや形状、食材用途が異なる様々なナス品種を取り上げ、夏秋栽培での栽培特性を把握するとともに、当センターで開発した「かいてき仕立て」に対する適応性についても併せて確認する。

[成果の内容・特徴]

夏秋栽培において安定的に収穫でき、直売所販売に適すると思われる品種の特性は以下のとおりである。

1．長ナス品種‘庄屋大長’

- ・果長 30cm と細長い品種で、開花から収穫まで 20 日前後を要する（表 1）。
- ・収穫始期は遅いが、1 果重が 200g と大きいため収量は‘千両二号’と同程度であり、「かいてき仕立て（改良 U 字 3 本仕立て、側枝更新剪定）」にすることで上物収量・上物率が上昇する（表 2、3）。
- ・果実は柔らかく、また果皮・果肉の変色が少なく品質に優れる（表 4）。

2．水ナス品種‘みず茄’

- ・果長 12cm、果重 90g の卵型品種で、収穫日数や草姿等の栽培特性は‘千両二号’とよく似ている（表 1）。
- ・収量は‘千両二号’より優れ、8 月に最盛期を迎える（表 2、3）。
- ・柔らかく漬け物に向く（表 4）。

3．小ナス品種‘梵天丸’

- ・果重 40g と小さく、開花から収穫まで 10 日前後と短い（表 1）。
- ・1 果重が小さいため収量は少なくなるが、収穫果数は多い。側枝の発生が旺盛で、開花から収穫までが短くキズ果などの発生も少ないため、側枝を放任する「慣行仕立て（V 字誘引・側枝放任）」の方が収量に優れる。（表 2、3）。
- ・果実は硬めで、古漬け等では歯応えが良く品質に優れる。（表 4）。

[成果の活用面・留意点]

- 1．様々なナス品種の本県における品種・栽培特性を把握したことにより、直売所販売向けなどで品種の選定をする際の参考として活用できる。
- 2．直売所での販売時には、それぞれの品種で調理適性などが異なるため、具体的な調理方法などの情報を提示することが望ましい。
- 3．全ての品種において、施肥量は 3 要素各 40kg/10a〔基肥 35kg（うち緩効性 19kg）、追肥 5kg〕、栽植密度は 833 株/10a（畝幅 200cm×株間 60cm）として栽培した。

[具体的データ]

表1．品種・栽培特性

	品種	果型	果皮色	収穫に適した 大きさ		収穫 ²⁾ 日数	草勢	トゲの 大きさ
				果長	果重			
大長ナス	庄屋大長	大長型	紫黒	30cm	200g	16～21	普通	並
水ナス	みず茄	卵形	紫黒	12cm	90g	14～18	普通	並
小ナス	梵天丸	球形	やや赤	5cm	40g	8～12	強い	並
	千両二号	中長型	紫黒	12cm	90g	12～17	普通	並

2)：開花から収穫するまでに要する日数

表2．収量特性²⁾

品種	収穫期間	月別可販収量 (t / 10a)					合計	上物率
		6月	7月	8月	9月	10月		
庄屋大長	6月下旬～10月下旬	0.3	3.7	3.9	2.8	0.7	11.3	59%
みず茄	6月上旬～10月下旬	0.9	3.8	4.8	2.6	0.7	12.8	71%
梵天丸	6月上旬～10月下旬	0.3	1.4	1.8	1.4	1.2	6.2	67%
千両二号	6月上旬～10月下旬	0.7	3.2	3.2	2.2	1.0	10.3	69%

2)：慣行区の収量

表3．整枝方法の違いによる上物収量の差²⁾

品種	慣行	かいてき
庄屋大長	100	112
みず茄	100	104
梵天丸	100	84
千両二号	100	108

2)：慣行区における収量を100とした場合の指数

表4．品質特性

品種	硬さ	変色程度 ²⁾	適した調理
庄屋大長	柔らかい	小	漬け物、炒め物
みず茄	やや柔らか	中	漬け物(浅漬け)
梵天丸	硬い	大	漬け物(古漬け)
千両二号	標準	中	

2)：浅漬けにした際の果皮・果肉の変色の程度

耕種概要 播種：(台木)2月上旬、(穂木)3月上旬、接木：4月上旬、定植：5月上旬
 栽植密度：833株/10a (畝幅200cm×株間60cm)、施肥量(成分)：3要素各40kg/10a

[その他]

研究課題名：直売向け野菜における品種特性の把握と生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2005～2006年度

研究担当者：宮川芳樹、竹丘守、對木啓介、千野正章、五味亜矢子